

島根県立平田高等学校

総探通信

R4年度第1号
令和4年7月21日
発行



～明日をひらこう 夢をひらこう みんなでひらこう～

みなさんこんにちは。

昨年度から発行している「総探通信」も2年目に突入しました。改めて説明すると「総合的な探究の時間」という授業で行われたことについて紹介していくお便りです。

平田高校では、地域協働学習を始め、この時間に様々なことに取り組んでいます。昨年度よりますます内容を充実させてお届けしたいと思っていますので、お楽しみに！

今回は、令和4年4、5、6月の取り組みについて紹介していきます。

1年生

5月19日、6月9日 地域みらい学

そもそも地域みらい学とは、その名の通り「地域を知り、地域のみらいを考えるためのきっかけとなるような学びができる授業」です。その第1回として、まずはみんなが通っている平田高校がある「平田」という地域は、どんな地域？というのを、地歴公民科の舟木先生に地理的な視点から説明していただきました。

第2回は、ウイングバスツアーの事前学習として、出雲市役所うみ・やま応援センターの小村真咲様様に、平田地域の状況と課題というテーマで、平田地域の抱える課題（例：人口減少、少子高齢化、空き家等）や、各地区での取り組みなどについてご講演いただきました。



6月14日 平田ウイングバスツアー

平田地域の沿岸部（鰐淵地区、伊野地区、北浜地区、佐香地区）をバスで訪れるツアーが行われました。まず各地区のコミュニティセンターを訪問し、地区の現状や課題や取り組みについて教えていただきました。その後は以下の場所を訪れ、それぞれの地区の歴史や見所を体感することができました。

鰐淵寺、伊野地区の空き家、休耕田活用地、地合漁港、十六島風車公園、義勇の碑、立石神社、小伊津海岸の洗濯岩

ご協力いただきました地域の皆様、ありがとうございました！！



5月23日 キャリア講演会 島根大学 丸山実子准教授

講師に島根大学 地域未来協創本部 准教授の丸山実子先生をお迎えし、1年生を対象に「キャリア講演会」を開催しました。丸山先生の多様な経歴やキャリアパスポートの意義などについてのお話を聞き、さらにお互いのキャリアパスポートを見合うなどしました。

講演会後の振り返りシートには、「人生の壁を乗り越える方法が分かった。」や、「失敗しても良いからやってみることが大事だと気付いた。」などの感想が多くあり、自身のキャリアを考えるヒントを得られた生徒がたくさんいました。



2年生

地域協働学習スタート

昨年度までは決まったテーマについてそれぞれの班で探究学習を行っていましたが、今年度は一から自分たちが探究したいテーマについて考えています。1からテーマを考えるという作業は非常に大変です。そこで！今年度は地域の方にもサポート（地域サポーターさん）いただきながら活動を進めています。平田商工会議所からも引き続きサポートいただいています。地域サポーターを代表して、島根県立大学4年生の浦辺太一さん、平田商工会議所を代表して吉岡和也さんに、コメントをいただきました。

（裏面に続きます。）

《地域サポーター 浦辺太一さん 島根県立大学4年生》

みなさん、こんにちは！これまで探究学習を進めてきていかがだったでしょうか？プロジェクトを作り上げていく難しさなどはもちろんですが、みなさんを応援してくれる人は学校内だけでなく地域にもたくさんいることにも気づいたのではないのでしょうか？この恵まれた環境に感謝をしながら、今後も挑戦を続けていってください！

《平田商工会議所 吉岡和也さん》

今年度から地域協働学習に携わっています平田商工会議所の吉岡です。従来(?)の学校の勉強といわれると、与えられた問題を決められた一つの正解を目指して解くことが多いと思います。しかし、地域協働学習では生徒さんが自ら地域を考えて、問題(課題)を見つけて、どうすれば解決できるかを模索しなければいけません。そこに地域共働学習の難しさやおもしろさがあると思います。ここでの経験はこれから社会に出ていく際に必ず役に立ちますので、楽しみながら一緒に学んでいきましょう！



4月25日 探究に関する講演会 島根県立大学 久保田典男教授

講師に島根県立大学 地域政策学部 教授の久保田典男先生をお迎えし、2年生を対象に「探究に関する講演会」を開催しました。講演の中で、これから探究をすることの意義や、進めていくために必要な、問題発見の方法や、解決するための対策、どのように提言していくべきかなどを説明していただきました。

地域のために何ができるか、その活動を通してどのような力を身に付けていきたいのかを考えるきっかけになりました。



3年生

進路探究発表会

3年生は2年次の活動の中で、自分は何を考え、どう行動したのか。その活動を通して、どんな力を身に付けたのかを振り返ります。そして、それをどう今後の進路に活かしていくのかを考え、PowerPointにまとめ、全員がクラス内発表会で発表しました。そこで選ばれた代表者が、6月10日に行われた島根県立大学の大学生さんへの発表会で、再度発表を行いました。発表会後には、大学生の方から「発表も、しっかり原稿を用意していて、丁寧に聞き取りやすい発表でした。どうしても「台本通り」になってしまい、あまり聞いている人へ意識を向けられていなかったかな、というのが少し惜しいところです。聞き手の存在を意識して、お話しするように発表できるとさらに良い発表になると思います。」というコメントもいただきました。



総探そうだったん!?

皆さん、こんにちは。1年生の皆さんには、はじめまして!ですね。

私は、島根県民歴2年目に突入した高大連携推進員の長門愛香です。広島県出身で、3年前まで広島県の高校で国語の教員をしていました。そこから結婚を機に京都へ移住、そして昨年島根にやってきました。

高大連携推進員のお仕事を簡単にご説明すると…まず平田高校では総合的な探究の時間に関わる色々なことをしています。色々ありすぎて説明が難しいですが(笑)。他には、大学との連携した行事などでは大学との連絡・調整係などもやっています。さらに出雲圏域の高校の高大連携に関わるお仕事もやっています。

普段は職員室にいるので、生徒のみなさんからは「長門先生」と声を掛けてもらうことが多いのですが、私は先生ではない立場でみなさんに関わっています。ですので、どうぞ気軽に「長門さん」と声を掛けてください(^)

今年の総探もはりきっていきましょう!!